

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 いっぼ			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 20日		～	2026年 1月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	29名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 20日		～	2026年 1月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間の清潔や心地よく過ごせる環境整備	毎日、2回の清掃。 意識的に空気の入替えを行っています。	床を毎日、薄めた次亜塩素酸ナトリウムで拭いている為、徐々に滑りやすくなっています。 今後は、床の滑り止めワックスを使い、滑りにくくし清潔と安全を担保するようにしていきます。
2	保護者への説明や連携	新規契約の際に、利用にあたっての説明や事業所の説明を丁寧に行っています。 全て文面に起こし、後から読み直しをしてもらえるよう配慮を行っています。	利用してから、年月が経つと忘れてしまうこともあるので、定期的に必要なお知らせを文面にして配布するようにしています。
3	非常時等の対応	毎月、火災や地震を想定して訓練を行っています。 訓練の様子は、連絡帳やSNS、毎月のお便りに掲載をしています。 「きずなねっと」を保護者に登録してもらい、開封確認訓練も併せておこなっています。	「安全計画」の訓練も毎月、行っていますが、保護者向けに発信をしていませんでした。この取り組みも保護者に知ってもらうよう発信をしていく予定です。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境整備	事業所が建物の3階に位置しているので、駐車場の確保や災害時の避難など課題があります。	駐車場は建物前に1ヶ所のみ。他は近隣の駐車場を使ってもらうよう案内をしています。 送迎の際は駐車場が混み合ってしまうため、案内を頻繁に行い保護者に周知してもらいます。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での他のこどもと活動する機会が無い事。	交流をする以前に、特性のある児の受け入れを他地域園が受け入れてくれるかの懸念から消極的になっています。	昨年度、他児童発達支援事業所のイベントに参加させていただきました。今年度は地域の児童発達支援事業所との交流を目的としたイベントを開催する予定があります。
3	きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	親子で参加してもらいイベントは開催しています。イベントには利用児と親との交流を目的としている為、きょうだいの参加をお断りしていました。	利用児ときょうだい、きょうだい同士の交流を目的としたイベントも考えていきたいです。 安全の担保や一人っ子の事など問題はありますが今後、検討をしていきます。